

# 学校だより

平成29年度 第11号  
平成30年1月15日(月)



## 総社市立秦小学校

### 本年もよろしくお祈りします

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。どうぞ本年も秦小学校へのご支援・ご協力をよろしくお祈りします。

### 始業式式辞【要旨】(1/9)

明けましておめでとうございます。3学期も寒さに負けず頑張りましょう。

さて、今年の目標をたてましたか。たてた人は手を挙げてください。(数名の手が挙がる。)

6年生の男子「持久走大会で優勝することです。」とても素晴らしい目標です。

目標をたてていない人も、まだ間に合います。ぜひ今年1年の目標をたてましょう。

オリンピックやプロの世界で、夢や目標を実現している人には共通点があります。まず1つ目は夢や目標をずっと持ち続けたことです。そして2つ目は夢や目標に向かって努力し続けたことです。

あのイチロー選手は小学校の作文で次のように書いています。「3年生からは365日のうち、360日は激しい練習をやっています。だから、1週間で友だちと遊べる時間は、5～6時間です。」

なでしこジャパンのキャプテンだった澤選手は、「夢はみるものではなく、かなえるもの。」と言っています。やればできる、続けられると信じ、こつこつと努力を続ける人になれるようにしましょう。

ボールを投げる時に、手元を離れる時が1mmの差でも、やがてボールが地面に落ちる時には、大きな差になります。

3学期はまとめの時期です。特に6年生は中学校への進学が近づいてきます。小学校6年間のまとめをしっかりとしましょう。

それでは3学期も寒さに負けずに頑張りましょう。

### 1月の品格教育の目標は礼儀です。

総社市が目指している「総社を愛す子供」「心優しい子供」「礼儀正しい子供」の中の一つでもあります。礼儀は自分を正し、相手の心を和らげます。互いに尊敬し合い、気持ちよく生活しましょう。

## 学校行事の見直し

学校行事は、児童がいろいろな体験を通して成長できる貴重な場です。秦小学校でもこれまで多くの学校行事を実施してきました。しかし、新しい学習指導要領の実施を前に、学校行事の見直しを行う必要がでてきました。

### 1 見直しの必要性

現在、児童や教員にゆとりがない状況があります。さらに、新しい学習指導要領の実施によって、外国語、特別の教科道徳、プログラミング教育などあらたに取り組む内容が増えます。したがって、児童にも教員にもゆとりが一層なくなります。

そこで、児童や教員にゆとりをつくり、教員が子どもと過ごす時間を確保したり、本来行うべき業務に専念したりすることが必要になります。

### 2 見直しのポイント

- ①本来の目的、つまり児童が育つ学校行事になっているか。昨年度実施したから本年度も行うことになっていないか。
- ②授業時数を十分確保できるか。

### 3 見直しの手順

- ①教員による教育課程(学校行事等)の反省・検討【1月】
- ②学校関係者評価委員からの意見聴取【2月】
- ③PTA幹部会からの意見聴取【2月】
- ④最終的な決定【3月】
- ⑤PTA総会(学校だより)での説明【4月】

### 4 見直しの対象となる主な学校行事

- ①食育参観日、にこにこフェスティバル
- ②サマースクール
- ③秦っ子リレー
- ④水泳特別練習
- ⑤秋の遠足
- ⑥なわとび大会
- ⑦持久走大会



### 見直しとは?

なくしたり、内容を変更したり、回数を減らしたりすることです。

### 5 運動会の開催時期

秦小学校では運動会を9月に実施しています。午前中が学校の運動会、午後が地域の運動会です。2学期に開催している運動会を1学期(5月)に移動できないかと検討しています。

理由は2つあります。1つ目は、2学期に学校行事が集中しているのを分散することです。2つ目は、熱中症対策です。保護者の方、地域の方のご意見をお聞きしながら検討していきたいと考えています。

## 新しい学習指導要領

昨年3月31日、新しい小学校学習指導要領が公示されました。この改訂により、学校教育の内容が小学校では2020年度から変わります。ただし、一部の教科等については、来年度から実施されます。

今回の主な変更点は次のようになります。

### ◇標準授業時数

- 1学年(現行850時間→改訂後850時間)
- 2学年(現行910時間→改訂後910時間)
- 3学年(現行945時間→改訂後980時間)
- 4学年(現行980時間→改訂後1015時間)
- 5学年(現行980時間→改訂後1015時間)
- 6学年(現行980時間→改訂後1015時間)
- 合計(現行5645時間→改訂後5785時間)

※1単位時間は45分

### ◇学校教育の重点

「何を教えるか」から「何ができるようになるか」に大きく転換。

### ◇外国語教育の充実

小学校中学年で「外国語活動」を、高学年で「外国語」を導入。

### ◇情報活用力の育成(プログラミング教育)

子どもたちに、コンピュータに意図した処理を行うように指示することができることを体験させながら、「プログラミング的思考」(論理的に考える力)などを育成する。

### ◇主体的・対話的で深い学びの実現

学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるようにする。

### ◇道徳の「特別の教科」化

道徳は教科書が導入され、来年度から実施されます。数値などによる評価はなじまないと考えられることなどから各教科にない側面があるため、「特別の教科」となった。

改訂のスケジュール(小学校)は次のとおりです。

| 2018年度 | 2019年度 | 2020年度      | 2021年度 |
|--------|--------|-------------|--------|
| 移行期間   |        | 2020年度～全面实施 |        |

移行期間中、総社市では、外国語活動の時間が3学年～6学年で15単位時間増えます。

